

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/1/12

No. 23

賛同署名総数は	1/11まで	127,223
*オンライン署名		5,652
*署名用紙署名		121,571

筆
筆
筆

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



みやぎ生協・コープふくしまは
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の
海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。

スマホはこちらから

◆新年おめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。2021年は全国生協の皆さま、他団体の皆さまと共に署名活動に取り組むことができ『つながり』のありがたさを感じた1年でした。皆さまからいただいた思いを力に変えて2022年も歩んでいきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新地町 鹿狼山からの日の出

新春 福島 故郷の山 吾妻小富士

2022/1/6福島民報



●東京電力小早川智明社長が福島民報社のインタビューに応じ、海洋放出について「一方的に日程ありきではなく、行動と実績で示しながら進めていくことが重要」と述べ、処分の安全性や情報公開の透明性の確保に努める考えを

◆地元住民の同意を得ずに、処理水放出へ向け淡々と進んでいく状況に不信感が募ります。

原発からの距離にかかわらず、福島県内の各市町村で意見書の可決が相次いでいます。

東日本大震災で風評被害を経験したからこそその思い。県民の声を真摯に受け止めてもらいたいです。

2021/12/25福島民報

県内首長が国に不快感

東電、規制委に審査申請

東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出に向け、東電が規制委員会の審査を原子力規制庁に申請したことに、県内の首長からは地元との合意形成や国民の理解形成を欠いた手続きとして、不快感や不満を示す声が上がっている。県内五十九市町村議会では意見書で放出に意思表示する動きが続き、これまでに五十議会が何らかの意見書を可決した。全体の約半分に当たる四十四議会は放出への反対や方針の撤回、慎重な対応などを求める内容となっている。

地域の声聞いて 理解と合意へ努力要望

東電が推進している処理水の海洋放出に向け、東電が規制委員会の審査を原子力規制庁に申請したことに、県内の首長からは地元との合意形成や国民の理解形成を欠いた手続きとして、不快感や不満を示す声が上がっている。県内五十九市町村議会では意見書で放出に意思表示する動きが続き、これまでに五十議会が何らかの意見書を可決した。全体の約半分に当たる四十四議会は放出への反対や方針の撤回、慎重な対応などを求める内容となっている。

意見書可決相次ぐ

処理水の処分を巡る各町議会の意見書の可決状況は「表」の通り。二十四日、福島民報社が各議会事務局に聞き取りを行った。一方、福島第一原発のある大熊、双葉町町議会は方針決定前の昨年九月、処理水の処分方法の早期決定を国に求める意見書を可決。国民や県民が処分方法の早期決定を国に求める意見書を可決した。浪江町議会では今年六月、丁寧な説明や具体的な対策を求める意見書を可決した。

官製風評

意見書を可決(速やかな処分、早期決定などを含む) 50市町村

福島、会津若松、郡山、いわき、白河、須賀川、喜多方、相馬、二本松、田村、南相馬、伊達、本宮、桑折、国見、川俣、大玉、鏡石、天栄、下郷、楡枝、只見、南会津、西会津、磐梯、猪苗代、会津坂下、湯川、柳津、金山、昭和、会津美里、西郷、泉崎、中島、矢吹、矢祭、石川、浅川、古殿、三春、小野、広野、楡葉、大熊、双葉、浪江、葛尾、新地、飯館

可決していない 8町村

北塩原、三島、棚倉、楡、鮫川、玉川、富岡、川内

審議中 1村

平田

学習会の案内

わたしたちの海と暮らしを守りたい～私たちにできること～

講師：尚綱学院大学 特任教授 長谷川公一さん

主催：消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ

2022年1月26日(水) フォレスト仙台 +オンライン 10:30~12:30

申し込み問い合わせは 宮城県生協連022-276-5162



【学習会を考えられている皆様へ】 学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 央戸)

＜情報・お問い合わせ先＞

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内

「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局

〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F

TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail:sn.f10243sn@todock.coop (根本)



◆いわて生協さんありがとうございます！

岩手からたくさんの署名とメッセージが届きました。宅配納品書で署名を呼びかけてくださり、8,000筆を超える署名のご協力をいただきました。

(総累計では22,000筆を超えています)

一筆一筆が本当に心強く、欄いっぱい署名を集めてくださっている様子が伝わってきます。

＜岩手からのメッセージを紹介します＞

・自分も岩手県沿岸出身であり、祖父が漁業関係者のため、他人事ではないと感じています。このような署名の呼びかけはありがたいです。

・記事をよみびっくり！すぐに署名しました。家族全員の承諾を得ています。

・今の子供の将来を守るために、また漁業関係者の方々の生活を支えるためにも、別の方法での処理について国として研究してほしいと思います。

・ぜひ署名に協力したいと思いました。海洋放出以外にどんな方法があるのかについても学ぶ必要を感じているところです。これから先を生きていく子どもたちの未来が明るいものとなるよう願っております。

・国が一度放水しないと約束したのに今になって、安全性に問題ないなどと適当にもほどがある。弱いものの声は無視するなど品格がない。



●instagram投稿しています。「COOP_fukushima」で検索



＜編集後記＞erikoのつぶやき

年末年始いかがお過ごしでしたか？お正月明け現実を受け入れられず、体重計が壊れたと思った編集者です。年末年始寒波に襲われ雪国を堪能しまくった福島市。元日の積雪量33cmは観測史上初だそうです。積もった雪が融けない状態での降雪に道路はツルツルテカテカ、ボコボコガタガタのアトラクション状態。

「インディージョーンズみたーい！」と無邪気に感じながらも、事故には注意しようと気持ちを引き締める新年の幕開けでした。

